



町長エッセイ



新年1月6日は、東松山市で比企支部消防団の出初式が行われました。防災の最前線で活躍する皆さんの一糸乱れぬ行進を観閲し、思わず拍手をおくりました。

その後、23日から26日にかけて山林火災が連続して発生しました。自衛隊にも災害派遣を要請し、小川消防団、ときがわ消防団、東秩父消防団、消防職員との連携により、懸命な消火活動を行い、幸いにも犠牲者はなく鎮圧されました。

また、13日は成人式が行われました。252名が晴れやかに成人式を迎えました。新元号となる年に成人式を迎えた若人たちには、次の時代の担い手となり活躍することを期待するものであります。

同日、小川町和紙体験学習センターで行われていた「楮かしき」を視察しました。これは古くからの冬の風物詩でもあり、大釜で楮を蒸し、皮をむく細川紙の原料づくりが初めての体験者をまじえて進められていました。

そして、26日・27日にはユネスコ登録の三紙の4自治体が連携して全国にアピールする「手すき和紙販売会」が行なわれました。京都市「イオンモールKYOTO」の会場には、各産地からの販売商品が並び、ワークショップでは石州半紙・本美濃紙・細川紙が一冊となった和帳が作られました。帰路に着いた京都駅の構内では、偶然にも小川町在住のYさん夫妻にもお会いしました。

松本恒夫